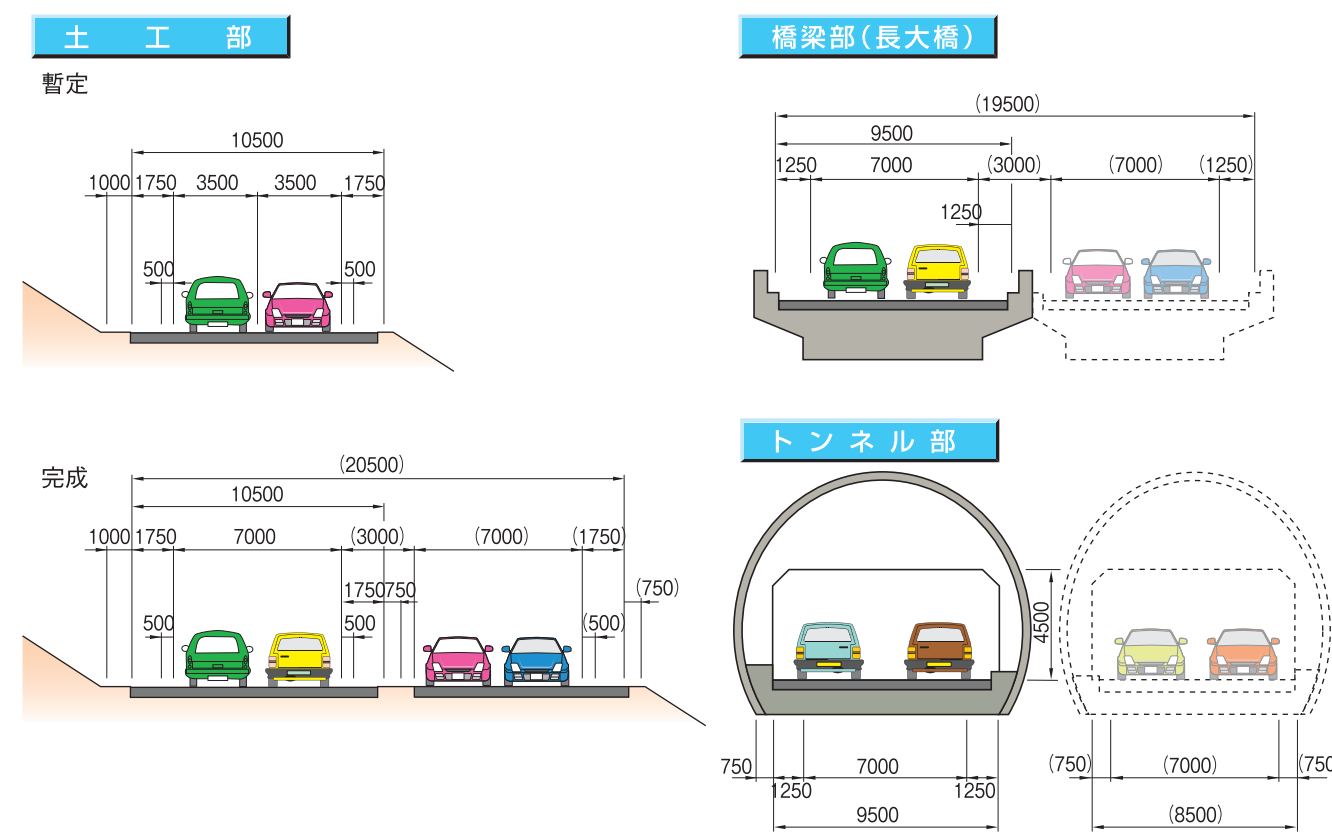
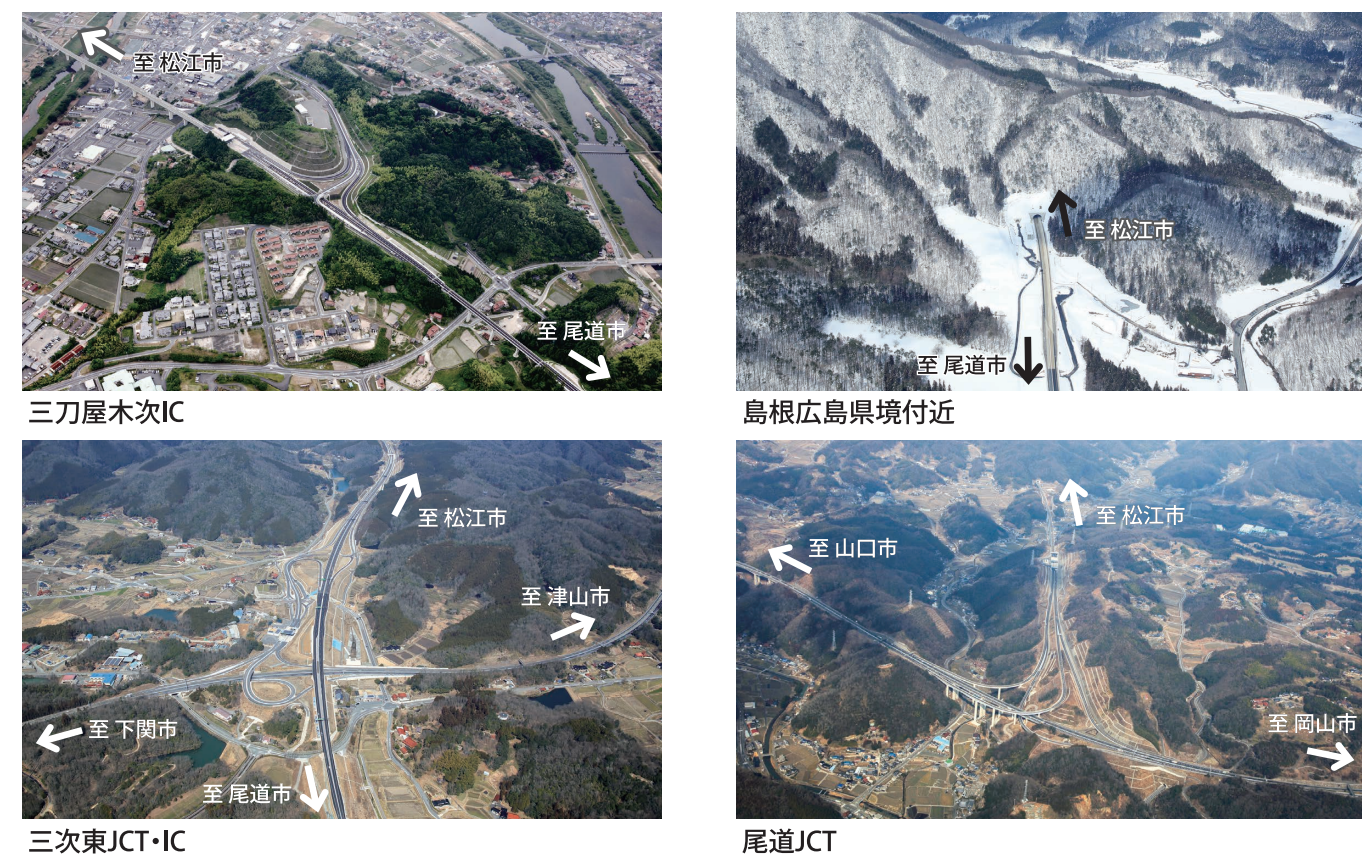


標準断面図

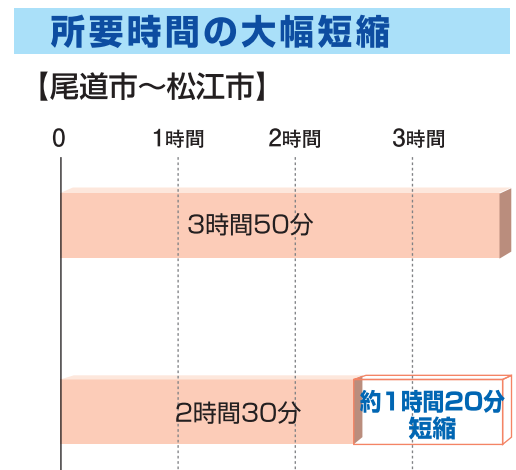


航空写真で見る尾道松江線



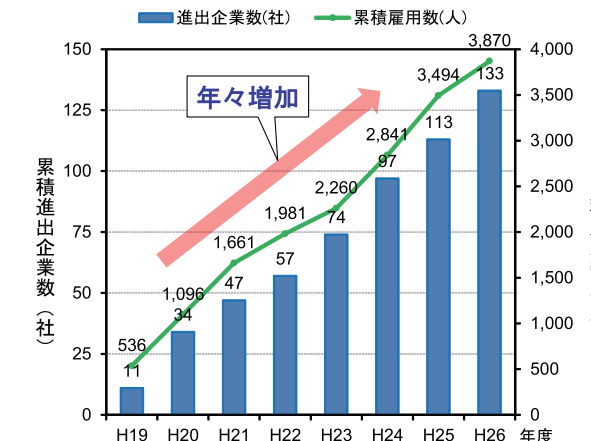
尾道松江線の整備効果

尾道松江線の整備によって、中国・四国地方の広域的な高速交通ネットワークを形成し、輸送・移動時間の短縮が図られ、産業・経済・文化・観光面で活性化が期待されます。



新たな企業立地・雇用の創出

▼沿線の企業進出・雇用量の変化状況



沿線：尾道市（一定規模（投下資本5千万円以上の工場等・H26は見込み含む）の新設・増設数、三次工業団地（H27.4の見込み含む）の新設数、島根県東部（安来市、松江市、斐川町、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町・H27.1時点）の新設・増設数
資料：H27.1尾道市・三次市より提供、島根県HPより

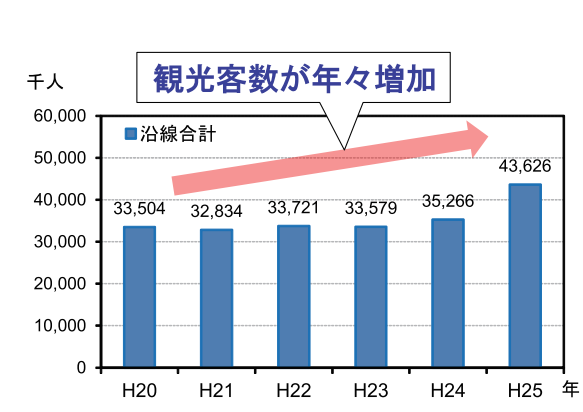
福山河川国道事務所
〒720-0031
福山市三吉町4丁目4-13
TEL (084) 923-2620

三次河川国道事務所
〒728-0011
三次市十日市西6丁目2-1
TEL (0824) 63-4121

松江国道事務所
〒690-0017
松江市西津田2丁目6-28
TEL (0852) 26-2131

観光振興の拡大

▼沿線の観光客数の経年変化



沿線：島根県（松江市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町、出雲町）、広島県（庄原市、三次市、世羅町、尾道市）
島根県HP：平成25年島根県観光動向調査より
広島県HP：平成25年広島県観光客数の動向より

中国横断自動車道 尾道松江線

愛称：中国やまなみ街道

（尾道～三刀屋木次間）



国土交通省 中国地方整備局

計画概要

中国横断自動車道尾道松江線は、広島県の瀬戸内海沿岸の尾道市を起点に、広島県北部の三次市を経由し、島根県の県都である松江市に至る延長約137kmの高速自動車国道です。

本路線は、山陽自動車道・中国自動車道・山陰自動車道及び西瀬戸自動車道と接続することにより中国・四国地方の広域的な交通ネットワークを形成し、瀬戸内海側地域と日本海側地域を結ぶ幹線道路として、輸送時間の短縮、一般道の交通混雑の緩和を図り、沿線地域の産業・経済・文化の発展に重要な役割を果たす目的で計画されたものです。

さらに、近畿・中国・九州を結び、広域的な経済を支える山陽自動車道と中国自動車道の2本の縦貫道を結ぶことによる縦貫道の機能強化及び災害時の代替路として役割を担う路線です。

平成16年1月から新直轄方式により事業を進め、平成22年11月27日に尾道JCTから世羅IC間（延長19.2km）が開通、平成24年3月24日に吉田掛合ICから三刀屋木次IC間（延長12.3km）が開通、平成25年3月30日に三次東JCT・ICから吉田掛合IC間（延長48.7km）が開通、平成26年3月30日に吉舎ICから三次東JCT・IC間（延長10.3km）が開通、平成27年3月22日に世羅ICから吉舎IC間（延長20.4km）が開通し、中国横断自動車道尾道松江線全線開通しました。

諸元

路線名	中国横断自動車道尾道松江線
区間	広島県尾道市から島根県松江市まで
総延長	137km（うち尾道～三刀屋木次間：新直轄区間約111km）
道路区分	第1種第3級（尾道～三刀屋木次間）
車線数	4車線（暫定2車線）
設計速度	80km/h（尾道～三刀屋木次間）
通過市町	尾道市、世羅町、三次市、庄原市、雲南市、松江市

事業経緯

基本計画決定	平成元年2月（三次～松江）
整備計画決定	平成3年12月（尾道～三次） 平成8年12月27日（三次～三刀屋） 平成9年3月8日（尾道～三次） 平成10年12月25日（甲奴）
施行命令	平成9年12月25日（尾道～世羅、吉舎～口和、吉田掛合～三刀屋木次） 平成10年4月8日（世羅～吉舎） 平成10年12月25日（口和～吉田掛合） 平成11年12月24日（甲奴）
新直轄区間へ移行	平成16年1月30日（尾道～三刀屋木次）
新直轄区間の開通	平成22年11月27日（尾道JCT～世羅IC） 平成24年3月24日（吉田掛合IC～三刀屋木次IC） 平成25年3月30日（三次東JCT・IC～吉田掛合IC） 平成26年3月30日（吉舎IC～三次東JCT・IC） 平成27年3月22日（世羅IC～吉舎IC）